

政務活動費収支報告書

令和 7年 3月 31日

富士宮市議会議長 諏訪部 孝敏 様

会派名称 公明会

代表者氏名 佐野 寿夫

令和 6年度の政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収入
政務活動費 900,000 円

2 支出

項目	金額 (円)	主たる支出の内訳
資料作成費	0	
資料購入費	130,240	書籍代
会議費	237,086	
事務費	6,976	事務用文具代
調査旅費	205,620	
その他経費	8,640	
合計	588,562	

3 残額 311,438 円



令和 6 年度 政務活動費現金出納簿

(単位:円)

月	日	項目	内容	収入金額	支払金額	残高
4	1	政務活動費	政務活動費	900,000		900,000
5	7	資料購入費	図書購入費		60,060	839,940
5	16	会議費	講習会参加費		15,440	824,500
5	31	会議費	講習会旅費		13,030	811,470
7	5	その他経費	土産代		8,640	802,830
7	5	調査旅費	視察旅費		205,620	597,210
7	22	事務費	文具代		3,666	593,544
11	7	事務費	文具代		3,310	590,234
11	22	会議費	勉強会会場使用料		68	590,166
11	23	会議費	講習会旅費		24,310	565,856
12	10	会議費	勉強会プロジェクター使用料		136	565,720
12	10	会議費	講師交通費		1,422	564,298
12	10	会議費	講師謝礼		1,750	562,548
1	9	資料購入費	図書購入費		70,180	492,368
1	15	会議費	講習会参加費		30,660	461,708
1	15	会議費	講習会旅費		13,030	448,678
1	15	会議費	講習会参加費		15,000	433,678
1	15	会議費	講習会旅費		13,430	420,248
1	31	会議費	講習会参加費		30,660	389,588
2	5	会議費	講習会旅費		78,150	311,438
			合 計	900,000	588,562	311,438

収入金額	900,000 円
支出金額	588,562 円
差引残額	311,438 円

令和6年度 公明会政務活動費による予定

1. 先進地視察（調査事項）
 - ①地域づくり・地域参加
（まちづくり事業・地域再生事業等）
 - ②福祉一般・障がい者福祉・高齢者福祉
（障がい者支援・福祉サービス事業等）
 - ③保健・衛生・医療
（自治体病院経営改善プラン等）
 - ④環境（廃棄物・大気）
（ごみ減量とリサイクル事業・再生可能エネルギー関連・省エネ支援等）
 - ⑤防災・減災（安全・安心なまちづくり事業）
 - ⑥教育（先進的事例・教育振興策）
 - ⑦農業振興
 - ⑧観光事業（世界遺産関連）
 - ⑨SDGs・ゼロカーボンシティ・LGBT
2. 研修会
 - ①地方自治研修会・地域科学研究会への参加
 - ②日本経営協会・全国市町村研修会への参加
 - ③その他
3. 資料
 - ①議員活動関連書籍・辞典等の購入
 - ②自治体情報月刊誌の購入
 - ③市内地図等の購入
4. 消耗品
 - ①筆記用具等・文房具全般
 - ②その他

上記の事項に沿って、令和6年度公明会政務活動費を無駄なく大切に使用していく事を、会派で検討し決定しました。

佐野寿夫

齋藤和文

山藤陽子

第5号様式（第4条関係）

政務活動費交付決定通知書

富行第10号の2

令和6年4月1日

公明会

代表者 佐野 寿夫 様

富士宮市長 須藤 秀 忠

令和6年4月1日付けで申請のあった政務活動費の交付について、下記のとおり決定したので通知します。

記

令和6年度交付決定額 90万円

NO.

収 入 伝 票

項 目	政務活動費
金 額	900,000円
内 容	政務活動費 3人分 佐野寿夫 山藤陽子 齋藤和文
収 入 先	富士宮市長
収 入 年 月 日	令和6年4月1日
摘 要	

支 出 伝 票

項 目	資料購入費
金 額	60,060円
内 容	図書購入費
目 的	調査研究に必要なため
支 出 先	イマジン出版株式会社
支払年月日	令和6年5月7日
その他特記事項 (参加者・人数等) 自治体情報誌 「ディーファイル」年払い (26冊分) 60,060円 (雑誌代) (合計)	

— 領収書等貼付欄 —

ご利用明細票

お取扱目	店番	取扱番号
06-05-07		
取扱店		
払込口座		
払込金額	*60,060	料金 *0
振替受付票	払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行)	
入金額	*61,060	
おつり	*1,000	
ゆうちょ通帳アプリで税公金支払い (QRコード) キャンペーン実施中		

3り

 印紙税申告納付につき趣町
 税務署承認済

納品書

No. [Redacted]

2024年04月01日 頁 1

富士宮市議会 公明会 様

[Redacted] 出版株式会社

下記の通り納品致します。

表取 [Redacted] 幸三

〒 [Redacted] 5-8

号 [Redacted] 788

TEL [Redacted] FAX 05442-2623

¥60,060

行	商 品 名	部 数	定 価	合計金額	
1	D-file 2024年4月発行号(3月号)上・下	2	2,475	4,950	
2	D-file 2024年5月発行号(4月号)上・下	2	2,475	4,950	
3	D-file 2024年6月発行号(5月号)上・下	2	2,475	4,950	
4	D-file 2024年7月発行号(6月号)上・下	2	2,475	4,950	
5	D-file 2024年8月発行号(7月号)上・下	2	2,475	4,950	
6	D-file 2024年9月発行号(8月号)合本	1	3,080	3,080	
7	D-file 2024年10月発行号(9月号)上・下	2	2,475	4,950	
8	D-file 2024年11月発行号(10月号)上・下	2	2,475	4,950	
9	D-file 2024年12月発行号(11月号)上・下	2	2,475	4,950	
10	D-file 2025年1月発行号(12月号)上・下	2	2,475	4,950	
11	D-file 2025年2月発行号(1月号)合本	1	3,080	3,080	
12	D-file 2025年3月発行号(2月号)上・下	2	2,475	4,950	
13	Beacon Vol.98(夏号),Vol.99(秋号),Vol.100(冬号),Vol.101(春号)	4	1,100	4,400	
14					
15					
摘要		合計 26	10%対象金額 54,600	10%消費税額 5,460	税込金額 60,060

請求書

No. [Redacted]

2024年04月01日 頁 1

富士宮市議会 公明会 様

[Redacted] 出版株式会社

下記の通り御請求申し上げます。

表取 [Redacted] 幸三

〒 [Redacted] 5-8

号 [Redacted] 788

TEL [Redacted] FAX 05442-2623

¥60,060

行	商 品 名	部 数	定 価	合計金額	
1	D-file 2024年4月発行号(3月号)上・下	2	2,475	4,950	
2	D-file 2024年5月発行号(4月号)上・下	2	2,475	4,950	
3	D-file 2024年6月発行号(5月号)上・下	2	2,475	4,950	
4	D-file 2024年7月発行号(6月号)上・下	2	2,475	4,950	
5	D-file 2024年8月発行号(7月号)上・下	2	2,475	4,950	
6	D-file 2024年9月発行号(8月号)合本	1	3,080	3,080	
7	D-file 2024年10月発行号(9月号)上・下	2	2,475	4,950	
8	D-file 2024年11月発行号(10月号)上・下	2	2,475	4,950	
9	D-file 2024年12月発行号(11月号)上・下	2	2,475	4,950	
10	D-file 2025年1月発行号(12月号)上・下	2	2,475	4,950	
11	D-file 2025年2月発行号(1月号)合本	1	3,080	3,080	
12	D-file 2025年3月発行号(2月号)上・下	2	2,475	4,950	
13	Beacon Vol.98(夏号),Vol.99(秋号),Vol.100(冬号),Vol.101(春号)	4	1,100	4,400	
14					
15					
摘要		合計 26	10%対象金額 54,600	10%消費税額 5,460	税込金額 60,060

振込口座 [Redacted] イマジンシユツパンカ

研修参加申請書

		予算項目	会議費
起案	令和 6 年 5 月 6 日	決裁	令和 6 年 5 月 6 日
所 属	氏 名		備 考
1	公明会	齋藤和文	
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研修先	研修名	
東京都千代田区	国際ビル リファレンス貸会議室	地域経済分析システム RESAS活用応用編	
研 修 目 的			
議員力向上のための研修			
宿 泊 地	出発年月日	帰省年月日	
無し	令和 6 年 6 月 4 日	令和 6 年 6 月 4 日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	15,440円
内 容	地方議員研究会 「地方議員のための地域経済分析システム RESAS 活用 応用編」参加費
目 的	地域分析・議員力をテーマとした勉強会に参加し、 研究検討するため
支 出 先	地方議員研究会
支払年月日	令和6年5月16日
その他特記事項（参加者・人数等） 齋藤和文 1名	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	13,030円
内 容	地方議員研究会「地域経済分析システム RESAS 活用 応用編」 講習会へ参加するための旅費
目 的	地域分析と議員力向上をテーマとした勉強会に参加 するため
支 出 先	齋藤和文 1名
支払年月日	令和6年5月31日
その他特記事項（参加者・人数等）	

— 領収書等貼付欄 —

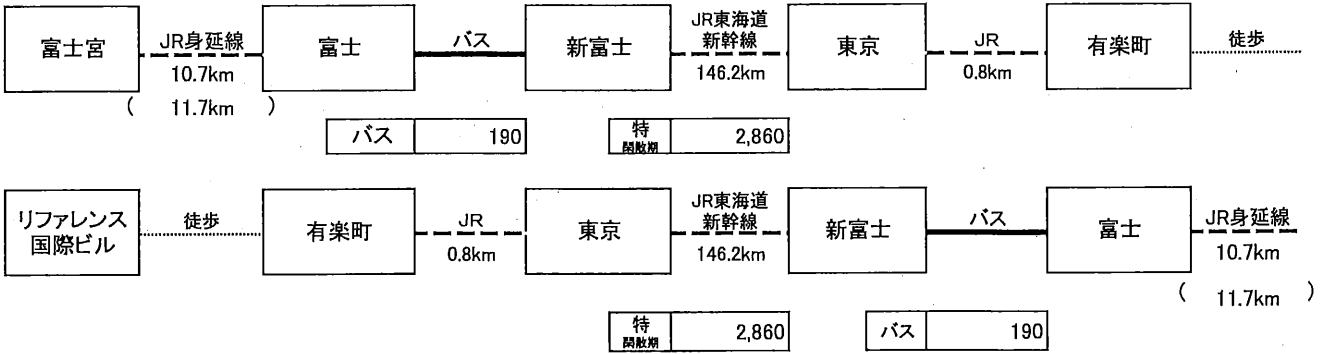
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

公明会
(齋藤議員)

● 1 日 目 : 令 和 6 年 6 月 4 日 (火) 閑散期

【研修】CKセミナー「地域経済分析システムRESAS活用応用編」(東京都千代田区丸の内3-1-1国際ビル)



富士宮

JR運賃営業キロ(片道)	
157.7	km
2,640	円

鉄道賃	JR	5,280 円	運賃 A	11,380 円	× 1 人 = 11,380 円
	私鉄	円			
特急料金	通常	円	日当	1,650 円 × 1 日 × 1 人 =	1,650 円
	閑散	5,720 円			
	繁忙	円			
航空運賃	料金	円	宿泊料	16,500 円 × 0 夜 × 1 人 =	0 円
船賃		円			
車賃 (バス)		380 円			
1人往復運賃合計 A		11,380 円	旅費合計	13,030 円/人 × 1 人 =	13,030 円

研修報告書

会派名	公明会
-----	-----

研修 年 月 日	令和6年6月4日
研 修 先	地方議員研究会 地方議員のためのRESAS活用：応用編
参 加 者	齋藤和文
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>行政システム株式会社顧問・蓼科情報株式会社の榎並利博氏より前回の基礎編に引き続き、今回は応用編を受けてきた。RESASとは、地域経済分析システムと言い、内閣官房の中のデジタル田園都市国家構想実現会議事務局と内閣府地方推進事務局が運営している人の動き流れ、人口構造、産業の動向構造などをいわゆるビッグデータ化し可視化するシステムである。榎並氏は住基ネットにも関わっており、全国市町村の導入時の対応等に携わってきた方である。富士通株式会社へ入社後、自治体の現場のシステム開発に関わり、その後富士通総研に出向し、公共分野のコンサルティングに従事している。富士宮市のシステム導入にも関わり、何回も当市へ訪れていると話があった。今回は、RESASの全体像（応用編）と題して、メインメニューの①地域経済循環マップ②産業構造マップ③観光マップを特に学んできた。RESAS活用事例と議員の役割では、各市の現状を長所と短所に分け、その結果新たな施策をどのように構築していくのか、図や文字化することで検証していくことが重要であると感じた。その結果、RESASを通して自治体の未来や将来に対する危機感の共有、課題認識についての対話を図ること（市民・行政・企業・事業者など）、最終的にどのような解決策があるのか、データを基にして行うこと議論することが最も必要なことである。地域経済循環マップでは、1. 地域内で生産された付加価値は、2. 労働者や企業に分配され、3. 消費や投資として支出され、再び地域内に還流するが、いずれかの過程で地域外にお金が出た場合は、地域経済が縮小する可能性があるため、地域経済の循環を把握、課題の抽出等分析する必要がある。産業構造マップでは、地域内の企業数、従業員数、売り上げなどをデータ化し、全産業の構造を目で見えて理解できるようにまとまっている。当市であれば、製造業や観光業、小売業の割合が見て取れる。更には構造分析も必要である。10年前と最新データ年の比較は重要であり、産業毎の増減率は地域内の変化が理解できる。発展しているのか、衰退しているのか、現状を把握する必要は大いにある。最後に観光マップについてだが、目的地、宿泊者、国内外の訪問数など、こちらもデータ化することにより強い面、弱い面等、今後重要性をどのように認識していくのか、今後の施策を作り上げる基をストックする必要性を学び、思いも重要だがデータによる対応・施策が必要を感じた。</p>

視 察 申 請 書

		予算項目	調査旅費
起 案	令和 6 年 7 月 5 日	決 裁	令和 6 年 7 月 5 日
所 属		氏 名	備 考
1	公明会	佐野 寿夫	
2	公明会	山藤 陽子	
3	公明会	齋藤 和文	
4			
5			
視察市町村		視 察 先	目 的
四日市市		四日市市役所	男女共同参画の視点からの防災
大阪府中央区		ボーネルンドプレイヴィル 大阪城公園	全天候型インクルーシブ遊具施設について
大阪府鶴見区		鶴見緑地公園内 つるみっ子パーク	公園内インクルーシブ遊具について
甲賀市		エコパレット滋賀	プラゴミ分別等について
甲賀市		甲賀市役所	こうかおむつ便について
宿 泊 地		出発年月日	帰省年月日
大阪府大阪市		令和 6 年 7 月 9 日	令和 6 年 7 月 11 日

支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	205,620円
内 容	三重県四日市市・大阪府大阪市・滋賀県甲賀市へ 行政視察のための旅費
目 的	女性が主体となる防災対策、どのような子供も遊べる インクルーシブ遊具、当市プラゴミ分別の行き先、 乳幼児見守り対策、参考調査していきたいため。
支 出 先	佐野寿夫他2人
支払年月日	令和6年7月5日
その他特記事項（参加者・人数等） 佐野寿夫・山藤陽子・齋藤和文の3人	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 書
No. [REDACTED]

日付 2024年07月11日
車番 [REDACTED] 000
メータ運賃 ¥2,000-
合計 ¥2,000-
内消費税等 ¥181-
消費税率 10%
上記の通り領収致しました


いつもご乗車
ありがとうございます
滋賀タクシー（株）
〒528-0037 滋賀県
甲賀市水口町本綾野1-1
TEL 0748-62-0159
登録番号 T7160001005439

領 収 書
No. [REDACTED]

日付 2024年07月11日
車番 [REDACTED] 000
メータ運賃 ¥4,000-
合計 ¥4,000-
内消費税等 ¥363-
消費税率 10%
上記の通り領収致しました

いつもご乗車
ありがとうございます
滋賀タクシー（株）
〒528-0037 滋賀県
甲賀市水口町本綾野1-1
TEL 0748-62-0159
登録番号 T7160001005439

視察報告書

		会 派 名	公明会
視 察 年 月 日	令和6年7月9日(火) 13時30分～		
視 察 先	四日市市：危機管理統括部危機管理課		
参 加 者	佐野寿夫、齋藤和文、山藤陽子(記)		
視察内容 (概要、特色、効果、課題等)	<p>7月9日(火) 13時30分～ 四日市市役所にて、男女共同参画の観点からの四日市市防災大学の取組について</p>  <p>初めに危機管理統括部危機管理課・後藤明彦課長よりご挨拶がありました。四日市市は日本のほぼ中央に位置し、西は鈴鹿山脈、東は伊勢湾に面した自然豊かな地域であり、東海、近畿、北陸という3つの経済圏につながる地理的条件にも恵まれた都市です。また、歴史や文化、伝統によって育まれた様々な魅力を有し、特に、公害を教訓に環境技術を蓄積してきた石油コンビナートや内陸部の半導体製造工業をはじめとする全国屈指の産業集積は本市の活力の源になっています。このような特徴を生かして多様な産業の振興を図るとともに、子育て支援や教育・医療・福祉対策にも力を入れ、誰もが暮らしやすいまちとしてさらに、発展していきたい。</p> <p>四日市市防災大学について説明がありました。平成17年度から防災リーダー養成講座「四日市市防災大学」を実施。平成25年度からは、女性住民を対象とした「防災・減災女性セミナー」を開始。東日本大震災の教訓から危機管理室(当時)の職員内で、「地域の防災活動」には女性の視点が必要不可欠。女性の参画を強化しなければといった課題意識が高まり「防災・減災女性セミナー」開始しました。</p> <p>防災大学にかかる予算については、R6年予算として、1,774千円である。主な費用の内訳としては、講師報償金、旅費などである。 防災大学の案内は、市広報へ掲載するほか、各地区防災組織の代表者や各</p>		

地区市民センターへ案内を送付している。また、四日市市地区防災組織連絡協議会の役員会などの会議の場で各地区での周知を依頼している。また、防災大学のほか、出前講座も開催しており、市民への防災に関する周知・啓発を行っている。

開催数・参加人数は以下のとおりである。

R1：87回・6487人

R2：16回・456人

R3：13回・598人

R4：24回・1221人

R5：38回・2565人

防災セミナーについて

(1) 受講者の年齢層及び受講が進むことに伴う参加者の年齢層の変化
防災への意識が高く、講座への興味関心も高い。例年防災養成講座の申込は15名前後おり、コロナ禍で一時減少したものの、令和5年度は30名の申込があり、受講生の年代も30～80代と幅広く、市民の防災への関心の高さが感じられる。また、防災・減災女性セミナーは例年10名前後が受講しており、今年度も同程度の受講の申込数であったが、防災士養成講座における女性の受講率が約10%から約40%と増加し、防災について学ぼうとする意識が高い。なお、防災・減災女性セミナーは年間13講座を設けて開催している。託児所を設けて、小さい子どものいる家庭でも参加できるような工夫を行っている。(R5年度より託児所設置)

その他、意識等について

(1) 最も変化した意識は

地区防災組織の代表者は連合自治会長を兼ねている方も多く、会長任期終了に伴い交代することもある。そのため、各地区で活躍する防災大学等の修了生のなかで地区防災組織の代表者をサポートするために各地区から選出された減災アドバイザーがおり、任期にとらわれず長期にわたり地域に根付いて防災・減災活動に貢献していただいている。修了生の中から防災・減災アドバイザーとして活躍いただく方が多くおみえになり、本事業の意義を感じている。

(2) 女性の防災意識向上に努力した点、知識を得たことで変化したこと
平成25年度から防災・減災女性セミナーを開設しましたが、受講をきっかけに地域で女性防災隊が結成されるなど、各地区で女性防災隊が結成されており、工夫を凝らした取組が行われている。また、市内に24か所ある地区市民センターには、防災・減災女性セミナー以外の講義も受講されるなど防災意識の高さが伺える。

(3) 人材育成された市民が、その後、知識・自治会でどのように活躍しているか

減災アドバイザーとして、任期にとらわれず長期にわたり地域に根付いて防災・減災活動に貢献していただいている。

減災アドバイザーは各地区防災組織が実施している事業の支援を行っており、主なものは以下のとおりである。

- ・住民への防災知識、意識の普及啓発（各種研修会の企画・立案・開催など）
- ・自主防災組織の醸成（自主防災組織体制への助言・指導など）
- ・自主防災組織が行う防災訓練（各種訓練への助言・指導など）
- ・危機管理課と自主防災組織との連絡調整（市と地区防災組織間の連携の強化など）

また、各地区の防災活動の取組を紹介する「つながる防災隊」という広報誌を年2回発行しており、防災大学修了生などの記事が掲載されている。これまで地区ごとに防災士が育成されてきており、地区の活躍の場を増やしていくことが必要と考えている。

(4)避難所運営マニュアルに女性の意見が反映されるようになったのか
東日本大地震などの大規模災害の経験や課題を踏まえ、平成28年2月に男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営の手引を作成している。これには、各講座の修了生、四日市市地区防災連絡協議会、四日市市自治会連合会とともに作成したものである。市内の地区防災組織において、避難所における運営マニュアルは整備されているが、この避難所運営マニュアルを参考にされて、改正した地区もある。

(5)家族の理解、影響については向上したのか

本市では、小学3年生に防火教室、中学1年生に防災教室を開催しており、本市の家族防災手帳や三重県の防災ノートを活用して学ぶ機会を設けている。また、高校への出前講座の開催や、四日市大学の防災士資格取得への協力、幼稚園、保育園の防火・防災教育として女性消防団による指導などを行っており、本市はできるだけ若い頃から防災減災に関心が持てるよう取り組んでいる。そのため、地域においては、災害時に青年層が、地域防災の重要な担い手として期待されており、地域の方からは、青年層の防災意識の高まりも感じているとお聞きする場面も多くなっている。実際に、地区の防災訓練でも、学校との連携もあり、青年層の訓練への参加や訓練ボランティアとしての参画が多く見られるようになってきた。市内の橋北中学校には生徒の防災知識や技能の向上、将来的に地域で活躍する人材の育成を目的とした「防災部」があり、小学校防災教育の指導補助や地区の防災訓練などへ「中学生リーダー」として参加するなど、活動を行っている。運営にあたっては、橋北地区の防災協議会など、地域と学校が協働して行っている。

(6)防災士の取得者は増えているのか

防災士の取得者の状況は以下のとおり

年度	修了生数	資格取得者数	取得率%
平成28年度	30	18	60.0
平成29年度	14	9	64.2
平成30年度	23	13	56.5
平成31年度	23	17	73.9
令和2年度	コロナにより中止		
令和3年度	14	11	78.5
令和4年度	12	12	100.0
令和5年度	26	21	80.7

防災・減災女性セミナーを受講された方たちが、女性防災隊を結成し、地域の防災・減災のために尽力されている。

また、減災アドバイザー、防災士の取得される人数も増えている。令和5年度より託児所を設置することにより、子育て世代の受講者が増えてい

る。
令和6年度の受講生の中から、地域の枠を越えたグループも結成されている。様々、周知もされているが、受講者の口コミの影響もあり、受講者が増えていると感じると女性の担当者から話があった。
当市では、出前講座を行われているが、依頼を待つだけでなく、女性の防災講座を開催して、防災知識を取得することで、自助、共助の地域の防災に女性の参画が進んでいくことを期待します。

視察報告書

会派名	公明会
-----	-----

視察 年 月 日	令和6年7月10日
視 察 先	大阪府大阪市中央区大阪城 3-9 大阪城公園内森ノ宮噴水エリア 「ボーンエルンド プレイヴィル 大阪城公園」について
参 加 者	佐野寿夫・山藤陽子・齋藤和文
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>視察に至った背景として、富士宮市内放課後等デイサービスに、この株式会社ボーンエルンド様のインクルーシブ遊具が導入されていたことに始まる。この施設では小型から大型遊具、赤ちゃんから小学生くらいまで遊べるあまり見たことがない遊具があり、非常に関心を持っていた。その後数年が経ち、その間デイサービスの代表者より多くの子どもの遊具の大切さ・重要さを聞いていた。東日本大震災直後から、外で遊ぶこと、家の中で遊ぶこと様々議論等され、更に公園等で遊ぶ重要性、行政の対応など様々な場面でおもちゃと遊び場について考えさせられた。そのような中で、貴社が創業し40年間、優れたあそび環境の研究、企画開発、デザイン、メンテナンスまでを手掛け、『あそび環境創造事業』『あそび道具販売事業』『あそび環境運営事業』を中心とし、あそび場を保育園・幼稚園・幼児教室・小学校・商業施設等に提案提供してきた。今回、大阪城公園内に※パークPFIを活用したプレイヴィル大阪城公園という屋内外で遊べる施設があり視察をした。この背景には、子どもの遊び場が減少している・異年齢の関わり・体力やコミュニケーション能力の低下・遊具の安全性が1990年代以降問題視されてきた。プレイヴィルは、人が多く集まる大阪城公園・天王寺公園・安満遺跡公園・大浜公園に設置運営されている。見たことがないおもちゃ、自分で考えて遊ぶおもちゃ、手足も服も汚れながら遊ぶおもちゃ、知育玩具や絵本が並び、ボールを水に例えたプールもあり、季節ごとのイベントでは子ども達が作り上げた作品が店内に発表される。屋内には、赤ちゃん専用コーナー、からだ遊びゾーン、表現遊びゾーン、水・砂あそびコーナーなどがあり、従業員であるプレイリーダーがあそびをサポートしながら、障がいがある子どももあそべる工夫・遊具も設置されている。寝ながらあそべる遊具、けがをしない工夫、所謂インクルーシブ遊具が多く設置されていた。その人自身の障がいに問題があるとか、取り巻く環境に問題があると考えのではなく、環境をいかに整えるのか、インクルーシブに対する考えを体感でき、学ぶことが出来、貴社に対し大いに賛同することが出来た。様々な企業とも連携協力を図ることも共感できた。日本サッカー協会や日本ハムファイターズの本拠地エスコンフィールド内のあそび場は協定締結し、サッカーや野球だけではない連携をしている。行政はもちろん公営ボートレース場内に設置も非常に驚いている。時代は常識・非常識に捕らわれない考えが必要なのかと考</p>

えさせられる。今後少子高齢化、多様性、インクルーシブを重要視する中で、子どものあそび場をどう展開していくのか。議員としてどう提案していくのか、大いに考えさせられた。素晴らしい機会・視察となった。考える以上は、子どもが楽しめる施設が市内に出来るよう努力してまいりたい。

※パークPFIとは、公募設置管理制度と言い、公園内で民間事業者が売店やレストラン等を運営する制度（プレイヴィル大阪城公園は、大和リース株式会社のもとで運営されている。）

視察報告書

		会 派 名	公明会
視察 年 月 日	令和6年7月10日		
視 察 先	大阪府大阪市鶴見区緑地公園 2-163 「花博記念公園鶴見緑地内インクルーシブ遊具」について		
参 加 者	佐野寿夫・山藤陽子・齋藤和文		
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>視察に至った背景として、午前中に訪問した大阪城公園内森ノ宮噴水エリアにあるボーネルンド プレイヴィル大阪城の説明をしていただいた(株)ボーネルンド 梶村様から、同じ貴社のインクルーシブ遊具を設置してある公園(外に遊具設置)を紹介いただき、現場視察と設置経緯をお聞きした。まず公園の場所であるが、鶴見区と守口市にまたがる126ヘクタールの巨大公園であり、大阪四大緑地に数えられている。地下鉄鶴見緑地駅から北西部にある遊具設置場所である「つるみっこパーク」までは徒歩で20分以上(約1.5km)かかり、ウォーキングはもちろん、自転車で公園内を散策の方がほとんどと感じた。それほど大きな公園であり、年間400万人以上来場し、公園内には体育館などのスポーツ施設を始め、湖・プール・記念ホール・売店など数多くの施設を有している。大阪市から大和リース株式会社・鶴見緑地スマイルパートナーズが指定管理者として管理運営している。</p> <p>この「つるみっこパーク」は、2021年にオープンし、市民から愛称も公募した。日本初上陸の大型遊具「ジャイアント・ドーム」や複数の遊具が設置されている。当日は平日であり、雨もぱらつく天気であったため、子どもが遊ぶ姿は1組ほどであったが、休日や長期機関の休みに入ると各遊具には長蛇の列が出来て、多くの親子連れでにぎわうと説明があった。当日午前中に視察した株式会社ボーネルンド様のインクルーシブ遊具が設置されており、乳幼児から小学生、大人まで安心して楽しめる公園となっている。特に障がいのある子どもが遊べる遊具が少ない中、寝転びながらもしくはベルト等で固定しながら、どのような子どもでも遊べる遊具があるのは非常に素晴らしい。この公園は4つのエリアに分かれており、「ジャイアント・ドーム」、回転遊具、乳幼児向け遊具、ブランコのゾーンで構成され、発達段階に合わせて遊べることも魅力的である。デンマーク・コンパン社製の遊具は、世界的にはインクルーシブ遊具を扱う老舗遊具メーカーであり、日本国内では少しずつ設置公園等が増えてきていることは、子どもを持つ親としては嬉しくそして感謝をしたい。富士宮市においても、都市公園等の整備計画が持ち上がっており、説明会等で報告を受けている。そのような中で、インクルーシブ遊具は増加しているが、インクルーシブ公園というものに今後焦点を当て、整備すべきではないかと感じている。どのような子どもも一緒に分け隔てなく遊べる場所を行政は提供すべきだと思う。</p>		

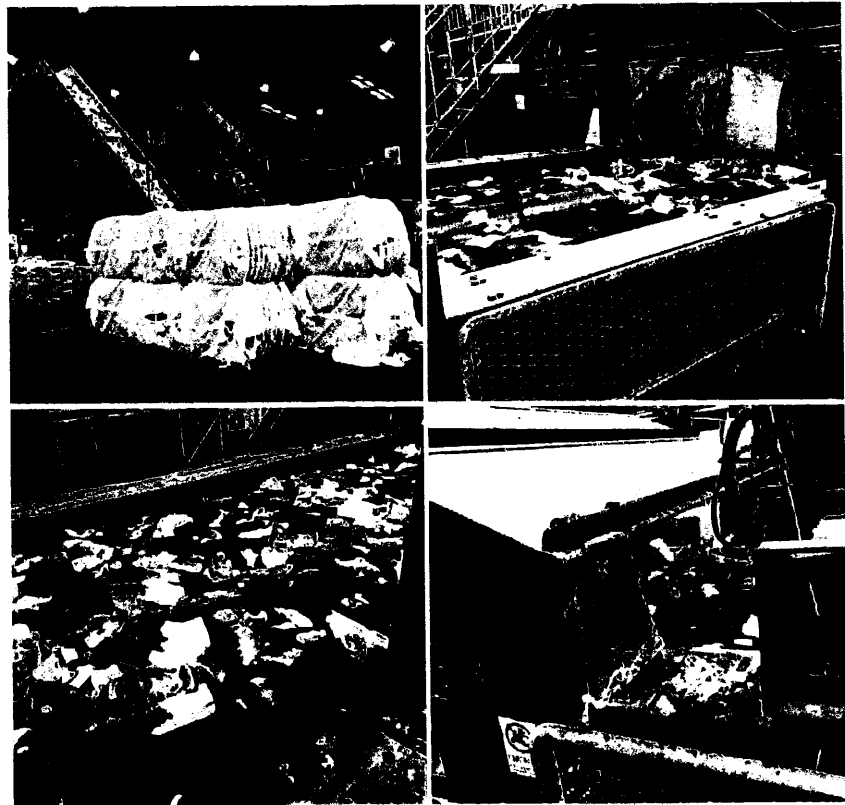
視察報告書

	会派名	公明会
視察年月日	令和6年7月11日(木) AM10:00～	
視察先	滋賀県甲賀市:「エコパレット滋賀」廃プラスチックの分別とリサイクル再商品化について	
参加者	佐野寿夫(記)、齋藤和文、山藤陽子	
<p style="text-align: center;">視察内容</p> <p>(概要、特色、効果、課題等)</p>	<p>富士宮市の廃プラスチックを受け入れて、リサイクルパレットを製造している株式会社エコパレット滋賀で座学と製造工程を視察してきました。</p> <p>為井章宏常務取締役より会社概要、製造工程、エコパレットの知識、質疑について聴講しました。</p> <p>市内の各家庭より出される廃プラスチックはゴミステーションから収集後、市内の会社で分別を行いエコパレット滋賀にトラックで運ばれます。</p> <p>当市の廃プラスチックは、月に20t～30t(年間300t～400t)がエコパレット滋賀でリサイクル再商品化されています。</p> <p>そもそも廃プラスチックといっても下記のように5種類位に分かれるそうです。</p>	

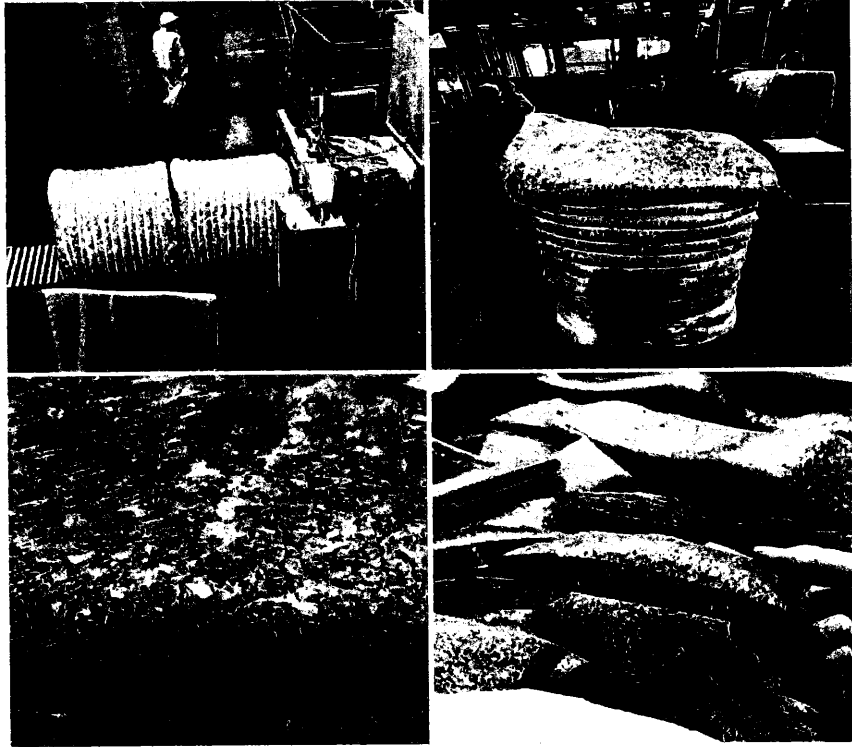
大型トラックにて搬入された廃プラスチックは、自治体ごとに工場内にプールされます。



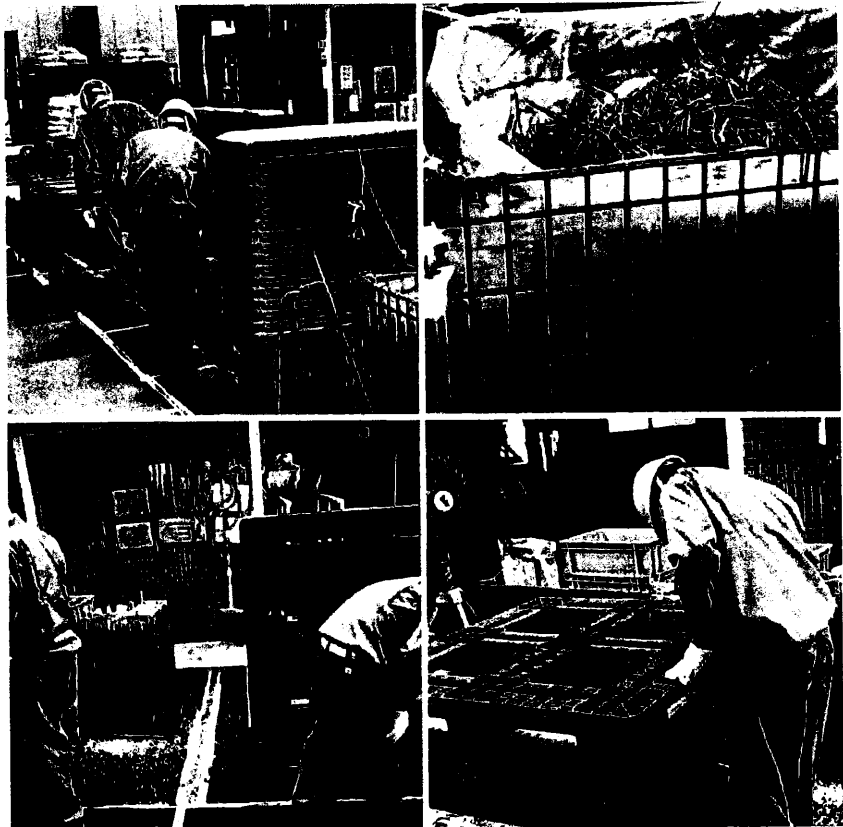
廃プラスチックのうちリサイクルパレットの材料になるのが約半分残りは、製紙系のボイラー燃料等に加工されるそうです。廃プラスチックは機械に入れると分別、破砕（2cm～3cm）、洗浄、200℃で溶かして再生材料となっていきます。一番注意している点は、リチウムイオン電池の混入による火災だそうです。機械が壊れると何百万の修理代と何日か営業がストップしてしまうそうです。 *各家庭での分別がとても大切。



廃プラスチックの臭気がきついと溶かしても再生材料になっても臭いが残ることがあるそうです。
家庭で臭気がきつい廃プラスチックは可燃ごみに分けた方が良いでしょう。



再生材料を型にはめて圧縮工程を経て黒い色のリサイクルパレットが誕生します。
リサイクルパレットの隅のバリ取りだけは、手作業で実施し完成です。





完成したリサイクルパレットは JIS 規格 eco マーク付きで倉庫に山積みされ出荷を待ちます。

*JIS 規格→過重 1 トンに耐える。落下テストで割れない。

国内パレット全体の 6 割が木製、4 割がプラスチック製。

リサイクルパレットの価格はバージンパレットの半額で大手企業も使用してくれるそうです。

地球環境保全のための取り組みの一つとして当市において令和 6 年 4 月より廃プラスチックの分別回収がスタートできたことは大変好ましいことでもあります。

今回リサイクルパレットが出来上がる工程を視察させて頂き大変勉強になりました。

今後、市民の皆様にも更に啓発していきたいと思えます。また、当市の分別事業として定着できるように当局を後押しして参ります。

エコパレット 滋賀

常務取締役

為 井 章 宏

Tamei Akihiro



株式会社 エコパレット 滋賀

〒520-3308 滋賀県甲賀市甲南町柑子 2002 番地 24
 TEL 0748-86-1601 FAX 0748-86-1602
 E-mail : tamei@ep-shiga.co.jp
 URL : http://www.ep-shiga.co.jp


◎リサイクルパレットの製造販売

◎再生樹脂の製造販売

廃プラスチック資源ゴミを使用した



視察報告書

		会 派 名	公明会
視 察 年 月 日	令和6年7月11日(木)14時～		
視 察 先	甲賀市：甲賀市役所、健康福祉部すこやか支援課		
参 加 者	佐野寿夫、齋藤和文、山藤陽子(記)		
視察内容 (概要、特色、 効果、課題 等)	<p>7月11日(木)14時～ 甲賀市役所、健康福祉部すこやか支援課、「こうか*おむつ便」</p>  <p>初めに健康福祉部・澤田いすづ部長よりご挨拶があり、甲賀市の概要の説明がありました。甲賀市は平成16年10月1日に旧水口町、旧土山町、旧甲賀町、旧甲南町および旧信楽町の5町が合併して誕生しました。歴史を遡ると、全国的に知名度の高い甲賀忍者のモデルとなった「甲賀衆」ゆかりの日本遺産のほか、奈良時代に聖武天皇によって大仏造営の地に選ばれた紫香楽宮の史跡や中世にこの地を治めた水口岡山城といった国指定史跡を含む重要な史跡が点在しています。本市は東西に新名神高速道路、国道1号、南北に国道307号が通過する広域交通の要衝であり、アクセス性の良さと「日本遺産信楽焼」や「甲賀の置き薬」などのものづくりの長い歴史を背景に立地が進んだ工業では、製造品出荷額で長年県内トップを誇っています。近年は令和4年に重要物流道路に指定された名神名阪連絡道路の整備、リニア中央新幹線の開業など、将来ますますの発展が期待される中、アフターコロナ時代の課題に挑むまちづくりを進めています。</p> <p>すこやか支援課母子保健係・山田智美課長補佐より「こうか*おむつ便」の経緯の説明がありました。</p> <p>(1)経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中こどもと過ごし、1日会話がないうままに終わる ・コロナ禍でコミュニケーションの場、出かける場の減少 ・コロナ禍で就労が安定せず、必要な消耗品の経済的負担が大きい ・地域との関わりの希薄さ、働く女性の増加で出産後地域に知り合いが少なく気軽に相談できる人がいない 		

と、妊娠届出や新生児訪問、健診時に多くの人から同じような相談がありました。

母の孤立感や経済的負担の軽減につながる支援と考え、子育て事業の情報収集。東近江市が実施している「見守りおむつ宅配便」が上記の相談に対応できると考え、継続した個別支援を行うため保健部門で実施することにしました。

*地域での見守り、孤独感を軽減のため訪問型の支援が必要。虐待予防につながる。

*かさ張る育児用品等を家に配達することで育児負担の軽減を行う。

*毎月 1500 円相当の育児用品をプレゼントし経済的支援を行う。

(2)経過

令和3年度 県内の事業実施市町（東近江市、甲良町）から情報収集

令和4年度 予算化

プロポーザルを実施し事業所を決定、随意契約を行う
庁内関係者、民生委員児童委員に協力依頼
宅配車デザイン決定

8月 契約締結

10月 事業実施

(3)予算措置

令和4年度 18,711千円

委託費：システム開発・車両デザイン等 1,573千円

受付・宅配業務（9か月分） 5,258千円

商品（遡及者含） 11,880千円

令和5年度 20,383千円

委託費：受付・宅配業務（12か月分） 8,503千円

商品 11,880千円

令和6年度 19,759千円

委託費：受付・宅配業務 8,723千円

商品 11,036千円

(4)財源 一般財源

補助金：母子保健国庫（産前産後サポート事業）

応援金国庫・県費（伴走型支援事業）

*事業の流れ

(1)「こうか*おむつ便」の申請から見守りまで

①「申請」

出生（転入）届出時に事業案内。申請（電子申請）をしていただきます。

②「すこやか支援課から申込者へ決定通知」

申請月の翌月にすこやか支援課から「決定通知書」「指定カタログ」を自宅に郵送

申請された方の「見守り訪問」をすこやか支援課が委託業者に依頼

③「K〇 × C〇メイトさん」（委託業者）から利用者へ連絡

訪問担当者の「K〇 × C〇メイトさん」より申請時に記入いただいた電話番号に連絡。指定カタログから、希望の育児用品を選んでいただきます。

④「見守り訪問」

申請月の翌々月より「K〇 × C〇メイトさん」が希望された育児用品や子育て情報等を持ち自宅訪問

⑤「定期的及び必要時に訪問の状況を委託業者から市役所に報告」

必要時は、電話等で随時。定期は月に1回すこやか支援課に委託業者が来庁し訪問の状況を報告（顔を合わせた口頭報告とデータ報告）

⑥「すこやか支援課から保健センターに訪問状況の連絡」

⑦「保健センターから支援が必要な利用者さんに連絡し、相談支援対応」

(2)保健・福祉・子育て部門との連携

①年2回 「こうか*おむつ便」地域見守り地域連絡会を開催

- ・民生委員主任児童委員
- ・委託業者（コープ、K0 × C0メイト）
- ・家庭児童相談室
- ・子育て支援センター コンシェルジュ（子育て政策課）
- ・保健センター保健師
- ・すこやか支援課

②年に2回委託事業者（K0 × C0メイト）研修会

- ・甲賀市の子育て情報
- ・こども家庭庁に関すること
- ・離乳食に関すること

*利用者からの相談内容、利用者の声

体重・栄養・生活習慣・運動発達・母の事・その他と1番多い悩みは栄養（ミルク、離乳食）

対応：「K0 × C0 メイト」の育児経験をふまえたアドバイス
保健センター、子育て支援センターの事業紹介
すこやか支援課、保健センターへの連絡

利用者からの声

- ・前回話していた悩みを覚えてもらっていた。悩みを聞いてくれて、相談にのってくれた。
- ・子どもの成長を見て大きくなったねと声をかけてもらえ嬉しかった。
- ・「言葉の通じる大人と話せて嬉しいです。」「たくさんおしゃべりできて楽しいです。」
- ・「初めての子育てで不安だったことなど、たくさん聞いて頂きとても嬉しかったです。
- ・物の価格がどんどんあがっている。その中でおむつが頂けるのはとても助かる。
- ・双子を連れての買い物が大変。おむつが家に届いてうれしい。
- ・子どもの成長に合わせてサイズの変更ができて楽
- ・1月に1パックでは足りない。
- ・プレミアム商品など、もっと多くの種類の商品を取り扱ってほしい。

委託業者の「K0 × C0 メイトさん」は30代から40代の子育て経験者ちょっと前の子育ての先輩なので、相談しやすい。
本音を話しやすい状況から、今までよりもきめ細やかなケアができるようになった。

男性が育休を取るようになり、子育てをどうしたらいいのか、わからないという声も聞かれる。今後は男性のための子育て講座も必要と新たな課題もでてきている。

（パパ講座、パパと子どもと一緒に参加の講座など）

コロナ前の支援とおむつ便を始めてからの支援で変わったことはありますかととの質問に

「今までも訪問を行い、話を聞いていたが、コロナ禍や少子化でママ友を作るのが難しくなっており、気軽に話せる人がいないことで悩んでいる人が多いこと。」「相談の連絡がきてから対応するのではなく、こちらから訪問していくことが多くなり、ケアがより早くできるようになりました。」とお話してくださいました。

本市でも、取り組んでいただきたい事業であり、子育て支援が手厚くなると考える。今後、生かしていきたいとおもいます。

支 出 伝 票

項 目	その他経費
金 額	8,640円
内 容	視察における土産代
目 的	四日市市・大阪市・甲賀市2か所の 視察に伴う土産(4か所)
支 出 先	有限会社 ヤマタカ櫻井製茶
支払年月日	令和6年7月5日
その他特記事項(参加者・人数等) お茶 2,160円 × 4個 = 8,640円	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

No. _____

公明会 様

2024年7月5日

金額				千		円
				¥	8640	

但し お土産お茶代金(4箱)として
上記の金額正に領収致しました

印
紙

*YAMATAKA

自社茶農場から自社工場まで伝統を守る一貫造り

高(有)ヤマタカ櫻井製茶

〒418-0023 静岡県富士宮市山本(高原)877
TEL.0544-23-1851 FAX.0544-23-7624

登録番号: T6080102017400

現金	✓
小切手	

印 者 印	
-------	--

支 出 伝 票

項 目	事務費
金 額	3, 6 6 6 円
内 容	文具代
目 的	会派の調査活動に資するため
支 出 先	株式会社アオイ事務機
支払年月日	令和6年7月22日
その他特記事項 (参加者・人数等) A4 コピー用紙 5×500 枚 クリアファイル 200 枚 (7, 3 3 2 円×1/2=3, 6 6 6 円)	
※政務活動費マニュアルⅡ-2 案分充当の原則 (1) により案分率1/2とした	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

毎度ありがとうございます。 No.

26年 7 月 22日

株式会社アオイ事務機様

★ ¥7,332

内訳/消費税額等 (10) 666 税込 6666

但 事務用品

上記正に領収いたしました。 10% off

〒418-0051 静岡県富士宮市淀師1117-6
 株式会社 アオイ事務機

TEL 0544-22-334
 FAX 0544-23-241
 T1-0801-0101-1227

コクヨ ウケ-200

支 出 伝 票

項 目	事務費
金 額	3, 3 1 0 円
内 容	文具代
目 的	会派の調査活動に資するため
支 出 先	パッケージプラザ富士宮店
支払年月日	令和6年11月7日
その他特記事項 (参加者・人数等) 消しゴム・布テープ・ホッチキス・修正テープ・付箋・封筒 (6, 6 2 1 円×1/2 = 3, 3 1 0 円) ※政務活動費マニュアルⅡ-2 案分充当の原則(1)により案分率1/2とした	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

日頃ご愛顧頂き有難うございます
 本日はご来店有難うございます
 またのご来店をお待ちしております

項目	事務費	内容	文具代
領収書等貼付欄			
富士宮市議会 公明会 様 領収証 2024年11月 7日(木)			
上記正に領収しました(消費税等 登録番号T8-0801-0101-2012 但し、パッケージプラザ 富士宮店 静岡県富士宮市万野原新田4097-1 0544-25-6770 ※財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。			
		¥6,621-	
		現計	
		(消費税等	
		¥6,621-	
		¥601-を含まず)	

2024年11月 7日(木) 14:58 No. XXXXXXXXXX

0421 4909622732640 8015 カラ-ヌテ-フ° アオ	内	¥383
0421 4547432186033 ヌテ-フ° E 50X25	内	¥231
0742 0000049177008 PE-01A MONOシヨム 単52× 2個内	内	¥104
0771 4902870668525 HD-10D ホッチキス BL	内	¥628
0771 4902870200022 MAXIV NO. 10-1M	内	¥78
0746 4901755760835 フクトウ カ2 70G 単935× 2個内	内	¥1,870
0742 4902778722008 ラノックSN-100-07 RD 1P	内	¥88
0742 4902778184240 フ°ロム°ス2 PUS-101T 5C 単440× 3個内	内	¥1,320
0742 4901991703566 CT-YR5 モノユウセイ.カI 1P	内	¥220
0742 4901991703535 CT-YX5 モノユウセイ-フ° 1P	内	¥352
0742 4901991703559 CT-YR4 モノユウセイカI 1P	内	¥220
0742 4901991703528 CT-YX4 モノユウセイ-フ° 1P	内	¥352
0745 4935183951176 NSF-17T. フセンツ50X15 A	内	¥130
0745 4935183951206 NSF-20T. フセンツ50X15 A	内	¥130
0745 4935183951121 NSF-12T. フセンツ75X25 P	内	¥110
0745 4935183951091 NSF-09T. フセンツ75X25 Y	内	¥130
0745 4935183951015 NSF-01T. フセンツ75X75 Y 単130× 2個内	内	¥260
0337 4901755414615 LH°イカント° シェPP BIG	内	¥15

小計 ¥6,621
 内税対象額 10.00% ¥6,621
 内税 10.00% ¥601
合計 ¥6,621
 (うち消費税 ¥601)

お預り ¥7,000
 (消費税等 ¥601)
 お納り ¥270

研修参加申請書

		予算項目	会議費
起案	令和 6 年 11 月 6 日	決裁	令和 6 年 11 月 6 日
所 属	氏 名		備 考
1	公明会	齋藤和文	
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研修先	研修名	
栃木県宇都宮市	栃木県宇都宮市塙田1-1-20 栃木県庁	理解を深めよう 脳髄液減少症 (漏出症)	
研 修 目 的			
脳髄液減少症の理解のための研修			
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
無し	令和 6 年 11 月 23 日	令和 6 年 11 月 23 日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	24,310円
内 容	脳脊髄液減少症患者・家族支援協会 「理解を深めよう 脳脊髄液減少症(漏出症)」 講習会へ参加するための旅費
目 的	脳脊髄液減少症をテーマとした勉強会に参加するため
支 出 先	齋藤和文 1名
支払年月日	令和6年11月23日
その他特記事項 (参加者・人数等)	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

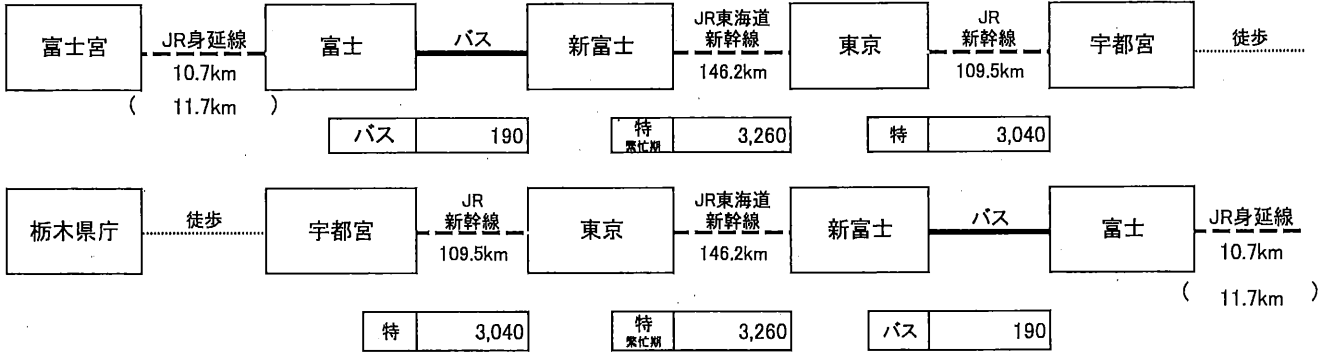
旅費計算書(政務活動費)

公明会

(齋藤議員)

● 1 日 目 : 令和 6 年 11 月 23 日 (土) 繁忙期

【研修】「理解を深めよう 脳脊髄液減少症(漏出症)」(栃木県宇都宮市埴田1-1-20)



富士宮	JR運賃営業キロ(片道)	
	266.4	km
	4,840	円

鉄道賃	J R	9,680 円	運賃 A	22,660 円 × 1 人 = 22,660 円			
	私鉄	円		日当	1,650 円 × 1 日 × 1 人 = 1,650 円		
特急料金	通常	6,080 円	宿泊料		16,500 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円		
	閑散	円			旅費合計	24,310 円/人 × 1 人 = 24,310 円	
	繁忙	6,520 円					
航空運賃	料金	円					
船賃		円					
車賃 (バス)		380 円					
1人往復運賃合計 A		22,660 円					

研修報告書

会派名 公明会

<p>研 修 年 月 日</p>	<p>令和6年11月23日</p>
<p>研 修 名</p>	<p>「理解を深めよう 脳脊髄液減少症(漏出症)」</p>
<p>参 加 者</p>	<p>齋藤和文</p>
<p>研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)</p>	<p>令和6年11月23日「理解を深めよう 脳脊髄液減少症(漏出症)」の講習会が主催「一般社団法人日本脳脊髄液漏出症学会」及び「認定NPO法人 脳脊髄液減少症患者家族支援協会」後援栃木県及び日本財団によって、東日本で初めて栃木県庁にて行われた。14:00から開始となり、これまでの症状が見つかるまでの経緯等が発表された。この脳脊髄液減少症は、交通事故などで頭部や全身を強打することで髄液が漏れ出し、頭痛、倦怠感といった、様々な症状を引き起こす疾病である。1938年に海外で発見されたが、それでもなお存在自体が疑問視されている(現在も医師によっては疑問を持つ方もいる)。全国には数万から数十万人の患者がいると推定されている。有効な治療法としてブラッドパッチ療法があったが保険適用外のため、1回の治療で20-30万円の費用が必要で、患者の大きな負担となっていた。現在では先進医療入りにより、ブラッドパッチ療法(2万円)は全額患者負担のままだが、同医療を行う際の入院費などに保険が適用され、治療費が10万円程度まで抑えられたと聞いている。ブラッドパッチ療法とは、自分の血液を採取して腰や脊髄の硬膜外側に注入し、髄液が漏れている穴を防ぐ方法である。そのような中で、治療にあたる医師、患者様、家族の皆様、支援者、行政担当者、議員が集まり、現状報告と課題を確認しあう場となった。問題点としては、医師による判断が異なる点であり、起立性調節障害と混同していることも多いと報告あり。小児頭痛(片頭痛や起立性調節障害)と学校現場サイドは理解しており、教員の理解が進んでいないこと。保険適用が進んだブラッドパッチ療法であるが、完全に治るわけではないことが挙げられていた。実際に現場で治療にあたる医師からは、ブラッドパッチ療法+αの部分をもどのような形で実践していくかで、早期に対応し根治するかが変わってくる(ぶどう糖など)と報告があった。その他の治療法としては、保存的治療と生理食塩水注入がある。その他の問題としては、一度起立性調節障害と診断された場合、脳脊髄液減少症自体が診断から外れることにある。両方の診断結果の出る患者も実際には存在している。今後当市において患者がいた場合の対応は考慮する必要あり。現在市立病院には専門医がいない以上、この疾病と診断される可能性は低い。近隣病院と連携し、早期発見や誤診が無いように、議員としては、国や県に働きかけ、多くの情報提供をし、患者に寄り添って対応していきたい。</p>

研修報告書

会派名		公明会
研 修 年 月 日	令和6年12月10日(火)	
研 修 名	地域医療勉強会	
参 加 者	佐野寿夫、山藤陽子	
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>「地域医療構想の進展と期待 富士市立中央病院の再編・統合に向けた課題について」</p> <p>現在の富士地域医療の状況を考え、公立病院を含めた地域医療の在り方を学ぶ機会を設けるため、地域医療勉強会を大富士交流センター第3会議室で開催。</p> <p>講師には、津田塾大学総合政策学部の伊藤由希子教授を迎えた。伊藤教授は医療経済学を専門にしており、現在、富士市の新病院建設基本構想等審議会の会長を務めている。</p> <p>勉強会では、富士市新病院建設基本構想等審議会を通して</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・問題は「医師不足」「看護師不足」ではない <ul style="list-style-type: none"> ・当面、すぐに増やせるはずもないリソースの不足を嘆いても解決できない ・少々増やせたとしても、現場の業務が変わらなければ、すぐに、辞めていく 2・若手の獲得よりも中堅の教育 <ul style="list-style-type: none"> ・現場の業務の見直しを進める原動力となる人の声を重視する ・事務部門を含め、病院の10年後の経営を担う人材を育てる ・今減らせる業務負担を今減らす 3・市政としては「一生に一度」、全国では「一年に一度」以上 <ul style="list-style-type: none"> ・余剰資金(コロナ支援金)が多い今が計画を進める好機 ・全国の再編・総合事例を前提に今後を検討する <p>人口減少が進み、外来・入院患者数・収益などの課題がある。医療圏内での情報共有、連携の強化がますます、必要になってくることを感じた。</p> <p>地域の医療ニーズにどう対応していくのか、議会としても、議論を進めていかなければいけないと感じた。</p>	

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	68 円
内 容	勉強会会場使用料
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	公益財団法人 富士宮市振興公社
支払年月日	6 年 11 月 22 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:佐野寿夫、山藤陽子	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

令和 6年 11月 22日

住所 富士宮市 [REDACTED]
 団体名 富士宮市議会地球医療勉強会
 氏名又は代表者名 中野健太郎
 (連絡責任者) [REDACTED]

富士宮市大富士交流センターの使用について、下記のとおり許可します。

使用日時	令和 6年 12月 10日(火曜日) 9時 00分 から 下記のとおり 令和 6年 12月 10日(火曜日) 12時 00分 まで		
行事名 内容	研修会	入場予定者数	15 人
		入場方法	無料・有料 商業宣伝・その他
会場責任者	〒住所 氏名	同上	入場料金 0 円
	(電話番号)		受領印
備考 (附属設備使用)	1.音響装置 6.ピアノ 2.プロジェクター 7.PA 3.スクリーン ⑧Wi-Fi 4.演台 9.その他 5.舞台 ()	利用料 (基 ・市外・入場料)	550 円
			領収 現金取扱員 6.11.22 消費税込10%(税込) (消費税等 55円)

※許可番号	[REDACTED]
※許可年月日	6.11.22

	使用日時(曜)・区分														
	12月 10日 (火)			月 日 ()			月 日 ()			月 日 ()			月 日 ()		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
集会室1															
集会室2															
会議室1															
会議室2															
会議室3	○														
会議室4															
和室															
調理室															

許可条件 富士宮市大富士交流センター条例、同施行規則及び係員の指示を守ること。

(注) 使用の取消と既納利用料の還付について

取消の場合は、使用日の8日前まで全額還付、7日前から4日前まで7割還付、3日前のみ5割還付
2日前から当日は還付がありません。

※上記の日時まで窓口にて取消手続きを行わないと、既納利用料の還付はできません。

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	1,750 円
内 容	講師謝礼
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	伊藤 由希子
支 払 年 月 日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:佐野寿夫、山藤陽子	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	講師謝礼
領収書等貼付欄			

領 収 書

地域医療勉強会 様

金 14,000円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の講師料として、
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所

氏名

伊藤由希子



支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	1,422 円
内 容	講師交通費
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	伊藤 由希子
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:佐野寿夫、山藤陽子	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	講師交通費
領収書等貼付欄			

領 収 書

地域医療勉強会 様

金 11,380円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の交通費として、
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所 〒
氏名

伊藤 由希子



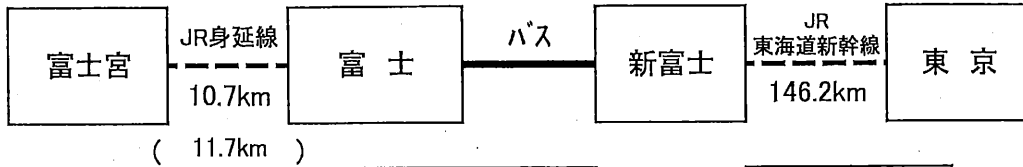
旅費計算書(政務活動費)

会議費

研修: 地域医療勉強会

会場: 大富士交流センター 第3会議室(富士宮市万野原新田4136-6)

● 令和6年12月10日(火) (往復) ※閑散期



バス	190
----	-----

特 閑散期	2,860
----------	-------

JR運賃営業キロ	
	156.9 Km
	2,640 円
バス	190 円

鉄道賃	JR	5,280 円	運賃 A	11,380 円 × 1 人 = 11,380 円
	私鉄	円		
特急料金	通常	円	日当	円 × 日 × 人 = 0 円
	閑散	5,720 円		
	繁忙	円		
航空運賃	料金	円	宿泊料	円 × 夜 × 人 = 0 円
		円		
車賃(バス)		380 円		
		円		
1人往復運賃合計 A		11,380 円	旅費合計	11,380 円/人 × 1 人 = 11,380 円

※旅費計算表に基づく

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	136 円
内 容	勉強会プロジェクター使用料
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	公益財団法人 富士宮市振興公社
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:佐野寿夫、山藤陽子	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	会場プロジェクター使用料
領収書等貼付欄			

領収書

発行日 令和6年12月10日

地域医療勉強会 様

¥ 1,100

但し、令和6年12月10日 利用の備品代として
上記正に領収いたしました。



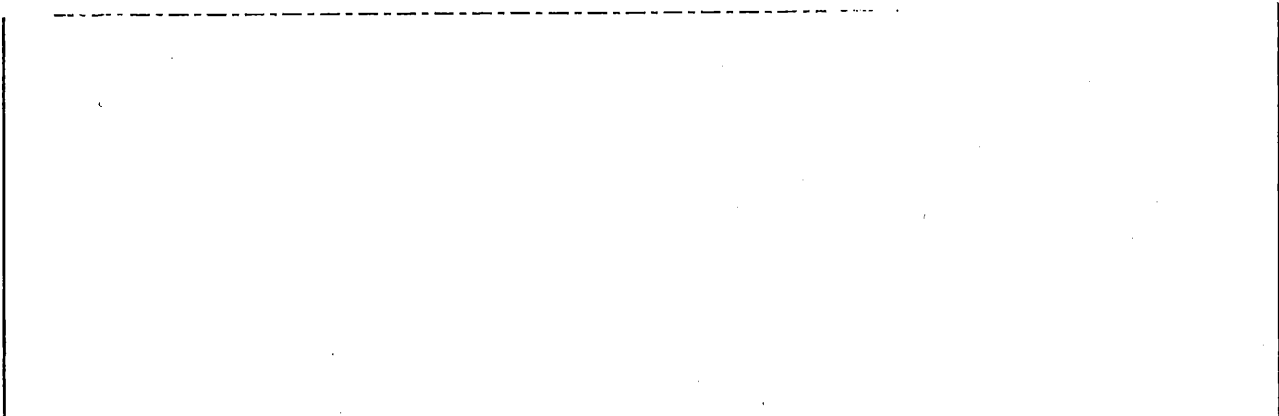
内訳

税率	税抜金額	1,000	円
10%	消費税額	100	円
税率	税抜金額	0	
8%	消費税額	0	

富士宮市

大富士交流センター 指定管理者
(公財) 富士宮市振興公社
Tel 0544-28-0024
登録番号：T 1080105003625

No. [REDACTED]



令和6年12月4日

津田塾大学 総合政策学部
教授 伊藤 由希子 様

地域医療勉強会
幹事 望月 芳将
中野 健太郎

地域医療勉強会の講師について(依頼)

師走の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、下記議題をテーマに地域医療勉強会を開催することとなりました。つきましては、御多用の折誠に恐縮ですが、勉強会にて講師を依頼したく、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 開催日時 令和6年12月10日(火)午前10時から11時45分まで
- 2 場所 大富士交流センター第3会議室
(富士宮市万野原新田 4136-6)
- 3 対象者 富士宮市議会議員14名
- 4 勉強会の議題
地域医療の現状、自治体病院の在り方について等
- 5 謝礼等 謝礼 14,000円
交通費 11,380円

以上

問い合わせ先

富士宮市議会議員 中野 健太郎

電話 [REDACTED] 携帯 [REDACTED]

e-mail [REDACTED]

12月10日(火)地域医療勉強会参加者名簿

No.	出欠席	会派	氏名
1	✓	公明会	佐野 寿夫
2	✓	公明会	山藤 陽子
3	✓	明和	辻村 岳瑠
4	✓	明和	佐野 和也
5	✓	明和	芦澤 秀典
6	✓	明和	平下 尚己
7	✓	明和	中野 健太郎
8	✓	富岳会	佐野 和彦
9	✓	富岳会	臼井 由紀子
10	✓	至誠	鈴木 弘
11	✓	超党派虹の会	渡辺 佳正
12	✓	超党派虹の会	稲葉 晃司
13	✓	超党派虹の会	近藤 千鶴
14	✓	無会派	望月 芳将
15	✓	無会派	仲亀 恭平
16	✓	無会派	岩村 恵美
17			
18			
参加者合計			16名

支 出 伝 票

項 目	資料購入費
金 額	70,180円
内 容	図書購入費
目 的	調査研究に必要なため
支 出 先	株式会社谷島屋
支払年月日	令和7年1月9日
その他特記事項 (参加者・人数等) ゼンリン地図 富士宮版・芝川版	

— 領収書等貼付欄 —

御芳名

富士宮市議会公明会 様

領 収 証

金額

¥70,180

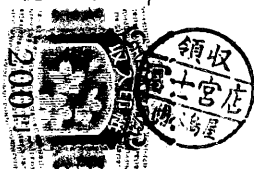
得意先コード

2025年1月9日 上記正に領収いたしました

但し ゼンリン地図 富士宮版・芝川版

内 訳

税率	税抜金額	¥63800-
10%	消費税額	¥6380-
税率	税抜金額	
8%	消費税額	
非課税商品額		


 静岡市葵区千代田7-10-33
 株式会社 谷 島 屋
 登録番号 T9080401005490

集金扱者印



研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和 7 年 1 月 6 日	決 裁	令和 7 年 1 月 6 日
所 属	氏 名		備 考
1	公明会	齋藤和文	
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
東京都新宿区	東京都新宿区西新宿7丁目2 1-3西新宿大京ビル	財政問題の質問の仕方1 財政問題の質問の仕方2	
研 修 目 的			
財政問題の理解のための研修			
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
なし	令和 7 年 1 月 15 日	令和 7 年 1 月 15 日	

政 務 活 動 費 用

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	講習会参加費
----	-----	----	--------

領収書等貼付欄

領収証

2025 年 1 月 15 日

富士宮市議会公明会 様

★ **¥30,000**

但 1/15 10時～ 財政問題の質問の仕方①
 1/15 14時～ 財政問題の質問の仕方②
 研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001
 大阪府大阪市北
 大阪駅前第2ビル
 TEL 050-68

しみずキャッシュサービスご利用明細票

いつも清水銀行をご利用いただきありがとうございます。

お取扱日		取扱店	機番	取扱番号
07-01-08				
銀行番号	支店番号	口座番号		
お取引内容		お取引金額		
振込		¥45,000		
万円	五千円	二千円	千円	硬貨額
4			5	660
時刻		お取引後残高		
12:31				
お受取人				
[Redacted]				
[Redacted] 様				
ご依頼人				
サイトウカス フミ 様				
電話番号 [Redacted]				



支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	13,030円
内 容	地方議員研究会 「財政問題の質問の仕方①」 「財政問題の質問の仕方②」 講習会へ参加するための旅費
目 的	地域分析・議員力をテーマとした勉強会に参加し、 研究検討するため
支 出 先	齋藤和文
支払年月日	令和7年1月15日
その他特記事項（参加者・人数等） 齋藤和文 1名	

— 領収書等貼付欄 —

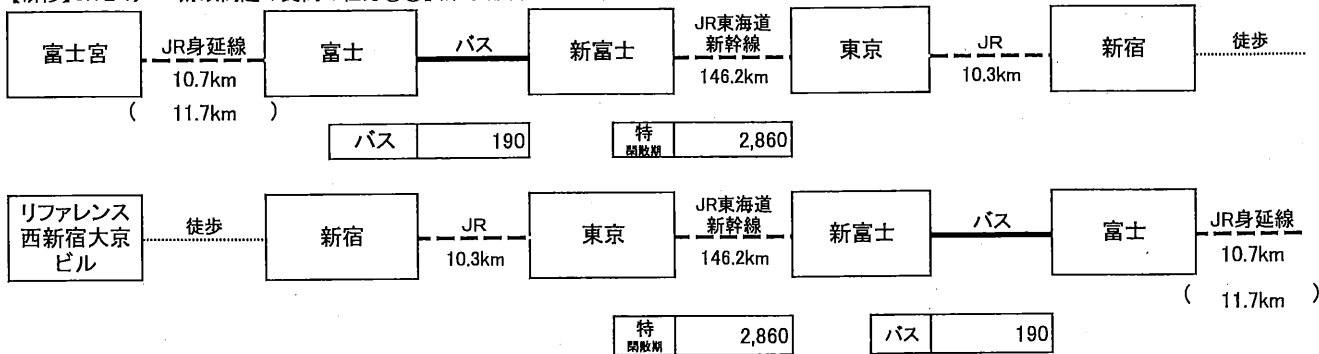
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

公明会
(齋藤議員)

● 1日目: 令和7年1月15日(水) 閑散期

【研修】CKセミナー「財政問題の質問の仕方①②」(東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル)



富士宮

JR運賃営業キロ(片道)	
167.2	km
2,640	円

鉄道賃	JR	5,280 円	運賃 A	11,380 円	× 1 人	= 11,380 円
	私鉄	円				
特急料金	通常	円	日当	1,650 円 × 1 日 × 1 人 =	1,650 円	
	閑散	5,720 円				
	繁忙	円				
航空運賃	料金	円	宿泊料	16,500 円 × 0 夜 × 1 人 =	0 円	
船賃		円				
車賃(バス)		380 円				
1人往復運賃合計 A		11,380 円	旅費合計	13,030 円/人	× 1 人 =	13,030 円

研修報告書

会派名 公明会

<p>研修 年 月 日</p>	<p>令和7年1月15日</p>
<p>研 修 名</p>	<p>地方議員研究会「財政問題の質問の仕方1」</p>
<p>参 加 者</p>	<p>齋藤和文</p>
<p>研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)</p>	<p>令和7年1月15日リファレンス西新宿大京ビルにて、元京都市議会議員の村山祥栄氏による研修会が行われた。講義の内容としては、大きく5つに分類されている。1つめが、コロナ後の財政リスクである。コロナ中の自治体の定額給付金や休業協力金にも大きな差が生じている。定額給付金は、基本10万円/一人であったが、財政に余裕のある自治体は10万円+αを出したところがある。+α部分の財源は財政調整基金である。富士宮市では約78億円の財調がる。さらに、休業補償金については、大都市で差が出た。大阪府や兵庫県では100万円の支給に対し、京都府は40万円(京都市を除く)、京都市にいたっては20万円しか出すことが出来なかった。問題はコロナ後である。コロナ中の財政は国から比較的潤沢に各交付金が出されていた。予算はそれらを使い編成されていた。コロナが明け、交付金も徐々に減額され、①交付金の減額で予算の付け替えが出来ない。②金利の上昇により利払いが増加③物価高騰による経費増(人件費・建設費・資材費などの高騰)④景気減退による税収減リスク⑤社会福祉費の増大(2042年頃まで高齢者増加)⑥維持改修の隠れ負債の発覚(道路・橋・建物など)⑦子育て支援策等の投機的経費増⑧財政調整基金(貯金)の枯渇などが懸念材料として挙げられる。さらには臨時財政対策債問題があり財政的に厳しいと予想されている。とはいえ、未来がある程度見えれば手を打つことが可能である。今後国内では2025大阪万博、2027カジノ開業→関西空港改修、国際移住者の増加→移住者は1960年7,500万人から2013年23,000万人に増加、海外旅行者の増加→1950年2,500万人から2013年10億人が日本国内にもたらすメリットは大きい。さらに急成長のターゲットはアジア圏であり、旅行の基本は安・近・短であるからだ。ITやペーパーレスなど自治体が進むべきトレンドをいかに理解し政策として実行していくのか、それにはいち早く自治体に気付かせ提言していく必要がある。そのためには、人口予測はもちろん、適正人口は?この予想がくると財政予想が困難になる。人口ベースで計画を作っていく必要あり。そのうえで、インフラ問題、労働者不足の対応が必要となる。今後は市役所で行っていることすべてを再点検し、デジタルによる解決、新たな概念の導入、これら3つを駆使して健全財政を達成していくことが大事になる。</p>

研修報告書

会派名	公明会
-----	-----

研修 年 月 日	令和7年1月15日
研 修 名	地方議員研究会「財政問題質問の仕方2」
参 加 者	齋藤和文
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>引き続き、財政問題質問の仕方2の研修となった。歳入を増やすためにはどうするのか。①ふるさと納税である。富士宮市においても令和5年度は63億円であり、静岡県内2位である。返礼品では、生活必需品であるトイレットペーパー等がメインとなっている。今後さらなる拡大を目指すには、返礼品の品数をいかに増やすか。それにより納税数は相関的に増加する。利用者がどのようなものを欲しがっているのか。消費者目線でリサーチしラインナップの充実が必要とされる。ここで、講師から話があったのは、ふるさと納税の三種の神器は「肉・蟹・米」であると。さらに、一定周辺自治体とともに協議をして抑えておくべきだと。なぜかという、市内産品以外でも県下の産品であれば地元自治体の了承があれば返礼品に加えることが可能であると教えていただく。これには私自身驚き、近隣市町村で同一のものが使用可能であったことは、今後返礼品を開拓するうえで必要不可欠な行動になると確信した。トレンドワードに関しても、訳アリ、獲れ過ぎ、産地直送などを使用することにより、返礼者のマインドをこちらに向けることが出来ると感じた。これまでの重要ポイントは、①返礼品の点数②消費者目線でのラインナップ③還元率の高さであったが、④地域を応援「応援人口」の創出である。北海道東川町は納税だけではなく、自ら目的をもって自主的に参加する形を目指し、企業と株主の関係のような長期的に市町を応援していただく仕組みを作り、どの事業に投資か、事業の進捗や運用経費などが報告される「応援人口」を目指している。長期的にファンになっていただくという内外に良いアピールが出来ると思う。⑤コト消費は、体験型である。この3年間で体験型は1.8倍、寄付件数は1.6倍になったサイトもあるようだ。富士宮も体験することは多くあるのでどんどん増やしていきたい。⑥トキ消費は、まさしく時である。共に作り出す時に参加してもらおう。モノ→コト→トキである。非再現性・参加性・貢献性である。⑦SDGsや⑧応援消費⑨ふるさと納税支援補助金などがあり、これまで以上に潮流に乗った戦略が望まれる。企業版ふるさと納税の勢い良く増加している。簡単に言うと企業の自治体への寄付行為であるが、寄付金額と物納、人材派遣型がある。最大9割に相当する税の軽減を企業がメリットとして企業のノウハウの活用による地域貢献を期待したい。当市においてもお互いに地域の発展のために活用したい。</p>

研修参加申請書

		予算項目	会議費
起案	令和 7 年 1 月 6 日	決裁	令和 7 年 1 月 6 日
所 属	氏 名		備 考
1	公明会	齋藤和文	
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
東京都新宿区	東京都新宿区西新宿7丁目2 1-3 西新宿大京ビル	交通崩壊の解決策と各地の事例	
研 修 目 的			
交通崩壊問題の理解のための研修			
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
なし	令和 7 年 1 月 17 日	令和 7 年 1 月 17 日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票


項 目	会議費
金 額	15,000円
内 容	地方議員研究会 「交通崩壊の解決策と各地の事例」参加費
目 的	地域分析・議員力をテーマとした勉強会に参加し、 研究検討するため
支 出 先	地方議員研究会
支払年月日	令和7年1月15日
その他特記事項（参加者・人数等） 齋藤和文 1名	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	講習会参加費
<p>領収書等貼付欄</p> <p>領収証 2025 年 1 月 17 日</p> <p style="text-align: center;">富士宮市議会公明会 様</p> <hr/> <p style="text-align: center;">★ ¥15,000</p> <hr/> <p>但 1/17 14時～ 交通崩壊の解決策と各地の事例</p> <p>研修会受講代として</p> <p>上記正に領収いたしました</p> <p style="text-align: right;">地方議員研究会 〒530-0001 大阪府大阪市北 大阪駅前第2ビル TEL 050-68 </p>			

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	13,430円
内 容	地方議員研究会 「交通崩壊の解決策と各地の事例」講習会へ参加するための旅費
目 的	地域分析・議員力をテーマとした勉強会に参加し、研究検討するため
支 出 先	齋藤和文
支払年月日	令和7年1月15日
その他特記事項（参加者・人数等） 齋藤和文 1名	

— 領収書等貼付欄 —

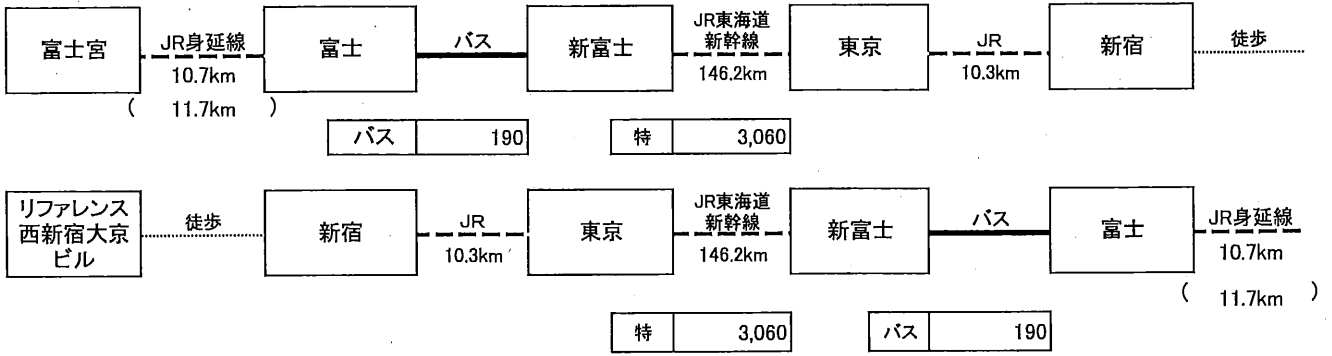
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

公明会
(齋藤議員)

● 1日目: 令和7年1月17日(金)

【研修】CKセミナー「交通崩壊の解決策と各地の事例」(東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル)



富士宮

JR運賃営業キロ(片道)	
167.2	km
2,640	円

鉄道賃	JR	5,280 円	運賃 A	11,780 円 × 1 人 = 11,780 円			
	私鉄	円		日当	1,650 円 × 1 日 × 1 人 = 1,650 円		
特急料金	通常	6,120 円	宿泊料		16,500 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円		
	閑散	円			車賃(バス)	380 円	
航空運賃	料金	円	1人往復運賃合計 A	11,780 円			
船賃		円		旅費合計	13,430 円/人 × 1 人 = 13,430 円		
		380 円					

研修報告書

会派名	公明会
-----	-----

研修 年 月 日	令和7年1月17日
研 修 名	地方議員研修会「交通崩壊の解決策と各地の事例」
参 加 者	齋藤和文
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>東京会場であるリファレンス西新宿大京ビルにおいて、早稲田大学スマート社会技術融合研究機構 電動車両研究所の研究院客員准教授 井原雄人氏により研修が行われた。この時「交通崩壊の解決策と各地の事例」と共に自動運転に関することも研修された。井原氏は自己紹介で、交通関係における分野として環境評価・車両技術・交通計画を研究する中で電動車両を活用した地域公共交通計画における環境評価であれば1番詳しいと仰っていた。コロナ禍の公共交通の維持は、エッセンシャルワーカーの通勤や市民の生活維持のための運行を維持、要介護者などの通院通所など必要不可欠な移動の維持が求められた。その結果、感染リスクのある中でも運行の継続が求められる一方、外出自粛により利用者は減少し、運行を継続したため(=休業していない)休業補償の対象外となってしまった状況にあった(三重苦とは、売り上げ減・感染リスク増・休業補償対象外)。その後コロナが収束したが交通事業者の輸送人員はコロナ前には戻っていません、少しであるが大人数を輸送する交通機関が毛嫌いされている状況にもある。それは利用交通手段の変化でも確認できる。移動手段が電車バス等から個人・マイカーへとシフトしていることにある。さらに買い物飲食行動も、スーパーや飲食店からネットショッピング・デリバリーへと行動が変化している。この影響は高齢者にも大きく与えている。高齢者の体力の低下、心の余裕の低下、そしてコミュニティからの乖離である。福祉業界は人出不足にあるため、介護が必要な高齢者が急増すると新たな支援が受けづらくなる。減少した利用者を増やす必要があり、そのためには新たな利用者ゾーンの開拓を進めなければならない、利用するつもりの人や利用するつもりのない人を巻き込み、月一回週一回をどのようにして持ってもらおうのかが、自治体や交通事業者で検討し、利用者にメリットと捉えて利用してもらおう必要がある。慢性的な赤字体質の脱却が求められる。今後交通崩壊の解消の一つとして挙げるのが自動運転である。現在レベル4の実証実験が国内各地で始まっている(隣の富士市でも実験中)。レベル1-3は一般の自動車でも実装済みである。交通事故者数の減少、労働力不足の解消、新たな産業の創出を生み出すことが出来る。地域に何が必要でそのためにはどうすればと考えて取り組む必要がある。「地域公共交通のトリセツ」というサイトもみながら当市の問題を解決していきたい。</p>

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会議費
起 案	令和 7 年 1 月 27 日	決 裁	令和 7 年 1 月 27 日
1	所 属	氏 名	備 考
	公明会	齋藤和文	
2			
3			
4			
5			
研修市町村	研 修 先	研 修 名	
福岡県博多市	福岡県福岡市博多区博多駅東 1-16-14リファレンスビル駅 東ビル	公共施設問題の基礎 公共施設更新費用と財政的視点	
研 修 目 的			
公共施設問題と更新費用、さらには財政問題の理解のための研修			
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
福岡県福岡市博多区	令和 7 年 2 月 5 日	令和 7 年 2 月 7 日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	30,660円
内 容	地方議員研究会 「公共施設問題の基礎」 「公共施設更新費用と財政的な視点」参加費
目 的	地域分析・議員力をテーマとした勉強会に参加し、 研究検討するため
支 出 先	地方議員研究会
支払年月日	令和7年1月31日
その他特記事項（参加者・人数等） 齋藤和文 1名	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	講習会参加費
----	-----	----	--------

領収書等貼付欄

領収証

2025 年 2 月 6 日

富士宮市議会 公明会 様

★ **¥30,000**

但 2/6 10時～ 公共施設問題の基礎
2/7 10時～ 公共施設更新費用と財政的な視点
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北

大阪駅前第2ビル

TEL 050-68

しみずキャッシュサービスご利用明細票

いつも清水銀行をご利用いただきありがとうございます。
ただいま、お取引いただきました明細は下記のとおりで
ございます。ご不明な点がございましたら、

お取引内容		お取引日		お取引時刻
振込	お取扱店	機番	処理番号	お取扱できない場合 ¥30,000
お取引銀行	お取引店	科目	口座番号	¥660
09:14		お取引金額		
おつり		¥340		
お受取手数料		お取引後残高		

伊藤ガスマシナ様

依頼人
伊藤ガスマシナ様

清水銀行 税申告納
付につき清水
税務署承認済



支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	78,150円
内 容	地方議員研究会 「公共施設問題の基礎」 「公共施設更新費用と財政的な視点」講習会へ参加するための旅費
目 的	公共施設問題と財政問題をテーマとした勉強会に参加するため
支 出 先	齋藤和文 1名
支払年月日	令和7年2月5日
その他特記事項 (参加者・人数等) 齋藤和文 1名	

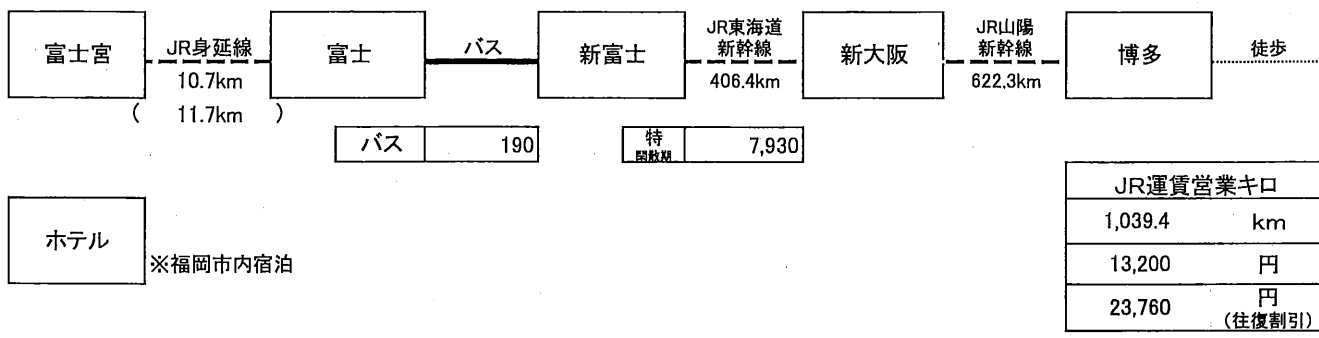
— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

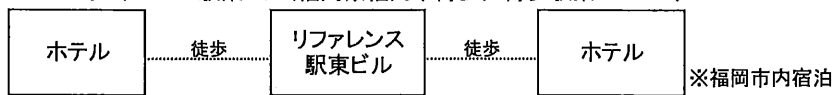
旅費計算書(政務活動費)

公明会
(齋藤議員)

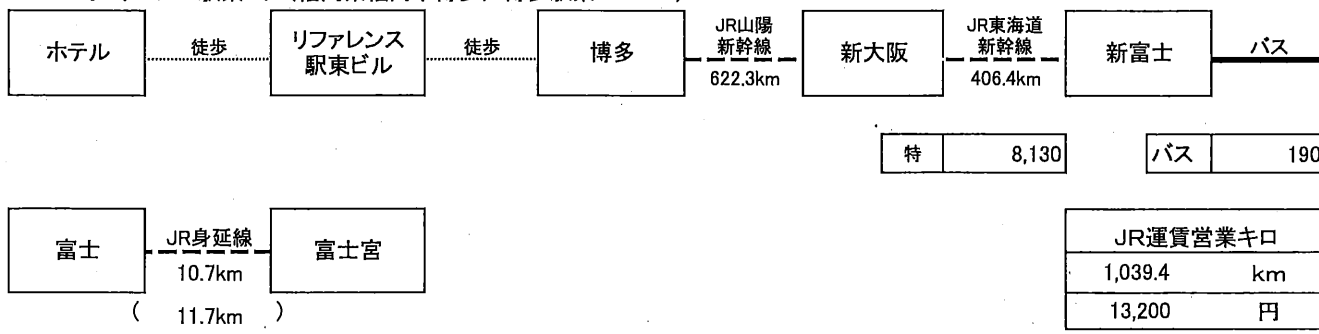
● 1 日目: 令和 7 年 2 月 5 日 (水) 閑散期
【前泊】2月6日午前10時開始の研修に間に合わないため前泊とする



● 2 日目: 令和 7 年 2 月 6 日 (木) 閑散期
【研修】CKセミナー「公共施設問題の基礎」
リファレンス 駅東ビル(福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-14)



● 3 日目: 令和 7 年 2 月 7 日 (金)
【研修】CKセミナー「公共施設更新費用と財政的な視点」
リファレンス 駅東ビル(福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-14)



鉄 道 賃	J R	23,760 円	運賃 A	40,200 円	× 1 人 = 40,200 円
	私 鉄	円			
特 急 料 金	通 常	8,130 円	日 当	1,650 円 × 3 日 × 1 人 =	4,950 円
	閑 散	7,930 円			
	繁 忙	円			
航 空 運 賃	料 金	円	宿 泊 料	16,500 円 × 2 夜 × 1 人 =	33,000 円
船 賃	円				
車 賃 (バ ス)		380 円	旅 費 合 計	78,150 円/人 × 1 人 =	78,150 円
1 人 往 復 運 賃 合 計 A		40,200 円			

研修報告書

		会派名	公明会
研修年月日		令和7年2月6日	
研修名		公共施設問題の基礎	
参加者		齋藤和文	
研修内容 (概要、特色、効果、課題等)		<p>令和7年2月6日に、立命館大学森裕之教授による講座が開催された。森教授は財政学、特に地方財政と公共事業を専攻している。さらに、社会的災害（アスベスト問題）についても公共政策論としての立場から考察されていると自己紹介があった。</p> <p>今回の公共施設特別講座に関しては、日本の人口推移予測（まずは現実を受け止める）を考慮に入れなければならない。日本全体では減少ベースであり、わが地域ではどうかと考えると減少は免れないと試算が出ている。全国の8割の地域で人口が2050年に30%以上減少する（2015年対比）予測が立てられている。人口が減少すると人口密度が減る→コストが上昇する、という図式が成立する。社会資本ストックの部門別内訳では、道路が36%、治水13%、下水道11%、水道8%、文教施設（学校・学術施設）と以下続いている。市町村別公共施設の延べ床面積の割合では、小学校28%、公営住宅25%、中学校17%、体育館4%と以下続いている。市町村おける技術系職員数（土木技師・建築技師）の状況も近年問題化している。5人以下の割合が5割を占めている。当市は11人以上勤務している。2005年から市町村職員数を減らしてきた。近年は増加しているが、土木部門の職員数について、全体職員数は増加しているにもかかわらず、増加していない。これは大事な問題である。当市においても採用予定数に追いついていない状況にある。ここ数年は公共工事のコストは労働力不足・賃金上昇・物価高騰、金利上昇の理由で上がっている。公共施設等をマネジメントする必要性が出てきている。人口減少・老朽化・財政逼迫から、公共施設等の削減は合理的である反面、地域は様々な住民が暮らす場、その中ではまだ施設等は不可分のものであると認識されている。今後は合理性について考える必要があると思う。適切で合理的な公共施設マネジメントとは何かを行政は考え、提案する必要がある。施設が多ければ住民生活の水準は向上するし、少なれば水準は低下する。多ければ経費が増加するし、他の政策に必要な財源が減少する。富士宮市においても、富士宮市公共施設等管理計画が作られており、少子高齢化や企業誘致の状況により税収の伸びを期待できない状況にある。総合的に、どの施設をどのように、地域に残すもしくは集約するかが、今後の課題となる。減らすだけでは成り立たない課題、地域の理解が無いと進まないなど、10年ではなく30年50年後を見据え、あらゆることを想定し整理する必要がある。</p>	

研修報告書

会派名	公明会
-----	-----

研 修 年 月 日	令和7年2月7日
研 修 名	公共施設更新費用と財政的な視点
参 加 者	齋藤和文
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>2/6に引き続き、公共施設特別講座を受講した。この日は、公共施設更新費用と財政的な視点と題して、公共施設の老朽化を財政問題として捉える重要性を学んできた。国は施設の統廃合し建て替えを進めたい方針であること、民間活力を活用したいこと（すべてが成功するわけではない）が大きな流れである。自治体財政の基本的考えとしては、歳入の見込みの範囲で歳出を行うことにある…施設建設費に対する財政負担が大きくなれば、その分だけ他の財政負担を抑制しなければならない。「木を見て森を見ず」の通り、個々に対する財政要求は優先度を定める上で意味があり重要だが、一方で財政運営全体としての視点も持つ必要であり重要であることは認識しなければならない。施設は建てて終わりではない。維持コストも考慮する必要は当然ある。公共施設の施設は、建設段階で国庫支出金・地方債・一般財源で建設され、建設後の維持管理・補修段階で一般財源が利用されます。施設数が多ければ多いほど、施設規模が大きいほど、コストは増大していきます。近年は建設コストが上昇傾向にあり、材料や人件費の高騰により、見積もり有効期間が短くなり、入札が不落になることが増えているのが公共入札の現状である。自治体の公共施設等管理計画の中で、現在行われているのが長寿命化計画である。施設の老朽化を予防・修繕・更新することで、耐用年数を伸ばす計画である。当市において、建物によっては70年を目指し使用することを目標にしている。長寿命化の徹底は、検討が進んで現状では効果が高い。段階的に、集約化・複合化の方向性となり、将来の維持補修・更新費・施設の運営費を抑えることが可能になるが、方向性を提示して具体案は止まっており、短期間では大きな効果は見出せないことが多い。方向性を具体化し都市構造自体の変革が求められている。そして新たな取組が、新技術、データの利活用、PPP、PFIの推進によって、維持管理の効率化を図るべきと私は考えている。当市では、今後市立病院・清掃センター、聖苑、学校施設統廃合、博物館構想など大型の施設更新や新規事業などが控えている。清掃センターにおいては県広域化計画がありどのような動きになるのか、市立病院は同じ医療圏内でどう考えるのか。聖苑は2040年頃まで火葬数が増加すると予想されている。必要な施設は維持更新しなければ、住民サービスの低下に繋がってしまう。コストが掛かるから悪という論調ではなく、必要な施設を計画的に建設していく方向性を作ることが必要と考えている。</p>